

第34回能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会（議事録）

- 1 日 時 令和元年7月3日（水） 13:30～14:40
- 2 場 所 能代市浅内自治会館
- 3 出席者 浅内自治会（柴田和郎副会長）、小野沢自治会（小沼孝光会長、渡辺正史副会長）、能代南土地改良区（飯坂辰斗）、浅内水利組合（平川悟副組合長）、能代の産廃を考える会（原田悦子事務局長）、能代市浅内財産区（山田文雄管理会会長、淡路誠能代市総務部長）、能代市（佐藤和孝環境産業部次長）、秋田県（高橋修生活環境部長：委員長）【敬称略】
- 4 議 事 (1) 平成30年度水質等調査結果について
(2) 平成30年度環境保全対策の実施状況について
(3) 令和元年度環境保全対策について
(4) その他

○秋田県 高橋生活環境部長 挨拶（要旨）

- ・センターの環境保全対策については、産廃特措法の実施計画に基づき、国の支援を受けながら、水処理施設の維持管理や、周辺環境のモニタリング調査を継続して実施しているところである。
- ・また、No. 2 処分場に残存するドラム缶については、前回の協議会において協議させていただいた内容を踏まえ、今年度、ドラム缶の分布状況を把握するためのボーリング調査と、掘削撤去に向けた実施設計を行うこととしている。
- ・本日は、昨年度に行いましたセンター及び周辺の水質調査の結果や、今年度を実施する環境保全対策などについて説明させていただきたく、皆様からの忌避のないご意見を願います。

（議事（1）、（2）、（3）について事務局で説明後、質疑応答）

<質疑の概要>

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | 浅内小沼や寒堤をはじめとする周辺公共用水域の水は、農業用水として利用しているが、センターの地下水や処理水で検出されるような物質は含まれているのか。 |
| 県 | 汲み上げた地下水については、水処理施設で処理した後、能代市下水道へ放流しており、周辺公共用水域に影響を与えることはない。周辺公共用水域についてもモニタリング調査を実施しており、分析した項目については問題ないことを確認している。 |
| 委 員 | 今後も、そのような物質が入らないように願います。 |
| 県 | 引き続き、汲み上げた水は適切に処理し、周辺環境はモニタリング調査により安全であることを確認していく。 |
| 委 員 | 下水道への放流水について、基準値は超えないながらも1, 4-ジオキサンが検出されている。下水道へ放流した後、うまく処理できているのか。 |

県	センターからの放流水については、下水道放流基準を下回っていることを確認している。正確なデータは把握していないが、下水道を流れる過程で、様々な水により希釈され、最終的には、おそらく検出されないような値になって、下水道から放流されていると思っている。
委員	放流基準未満といえども検出されており、処理水として下水道放流している以上、思っているという話ではなく、受け入れ側の能代市と協議するうえでこのような確認もしっかりとしていただきたい。
県	承知した。しっかり確認させていただく。
委員	「H 1 2 B - 4」において総水銀が環境基準を上回って検出されているが、過去にも検出されたことはあるか。また検出された理由を教えてください。
県	過去には、平成 2 2 年、2 3 年に同程度の値で検出されている。いずれも水をろ過し、細かい粒子を取り除いた後は検出下限値未満であるため、粒子側に起因するものであることは確認しているが、原因については当時から判明していない。
委員	このように出たり出なかったりということ自体が問題だと思う。過去にはこの周辺の井戸でも総水銀がでた時期があったはずなので、その他の地点も含めて、今後も注意深く監視していただきたい。
県	継続して監視していく。「H 1 2 B - 4」については、今年度、調査回数を 2 回に増やし、監視していきたいと考えている。
委員	ボーリング調査の開始日が 7 月 9 日とのことだが、機材を準備する日なのか、ボーリングに着手する日なのか、具体的に何をするのか教えてください。
県	7 月 9 日にボーリングを開始したいと考えており、前日の 8 日に測量や機材の搬入をする。みなさんのご都合もあるがボーリング開始時間は 1 0 時を考えている。
委員	6 月 3 0 日の住民団体による場内視察の際、南側の 3 地点から調査することを決めたが、3 地点のうちどこから着手するかは決めていなかった。準備があるとなれば、前日までに決めておかなければならないということか。
県	本調査では、移動式のボーリング機を使用するので、最終的なポイントは当日指定してもらって構わないが、3 地点の調査順については、先に希望を伝えてもらえるとありがたい。
委員	現場で過去の図面とも見比べながら調査位置の調整を行いたいと考えている。
県	時間は 1 0 時で考えているが、指定していただければその時間で対応する。

委 員	10時ということで承知した。
委 員	ボーリングは一カ所あたりどのぐらいの時間がかかるのか。
県	通常は2日、長くても3日程度である。
委 員	費用は、1カ所あたり百万単位でかかるのか。
県	その程度かかる。
委員長	調査は7月9日の10時から開始し、現場にいらした方と協議して、3地点の順番と位置を決定することとする。
委 員	今見えているドラム缶は撤去しないのか。
県	掘削撤去の方法を考えるうえで、まずはドラム缶が埋められている範囲を把握し、掘削範囲を決定するためにボーリング調査を行いたい。
委 員	前回の掘削では予算のこともあったが、掘削の方法が、崩れないように45度の傾斜をつける必要があり、危険が伴うので掘れなかったということもあるので、掘削に向けた設計にあたっては、私たちの意見も聞いていただきたい。
県	範囲が決定すれば、掘削撤去の方法について検討し、改めてこちらにお示しして、話し合いをしたうえで決めていきたい。
委 員	30日の場内視察の際、参加者から、大館沢へ放流している場内雨水の管理のあり方について質問があったが、県との協定書に基づき、センターから寒堤までの水路の管理について、県、土地所有者、土地改良区がそれぞれ管理すべき区域を定めていると思う。過去には、倒産した業者が残したU字溝を用水路に利用できないか県で検討するも断念した経緯があることも知っているなので、この件については私が本人に説明したいと思う。
県	お話のとおり、雨水排水路の管理については、平成20年に県と水利者の代表者との間で協定を結んでおり、大館沢の調整池から下って少しのところまでは県の管理、そこから下流についてはそれぞれ利水している方々の管理と定めている。U字溝の利用について検討するも断念した経緯もそのとおりである。 必要であれば、県としても説明に伺うのでよろしく願います。
委 員	承知した。
委 員	(以上、質問等なし)
県	最終確認だが、ボーリング調査は、7月9日の10時開始とし、立ち会いしていただける方は、その時間を目処にセンターに来ていただきたい。
委員長	以上で本日の協議会を終了する。

